

---

# 僕は人殺しです

小太郎

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

僕は人殺しです

### 【Nコード】

N2378BA

### 【作者名】

小太郎

### 【あらすじ】

ゴミの分別を間違えて工場を爆発させてしまった主人公。その爆発で命を失った幽霊が主人公に次々とおかしい命令を出していく。

## 1・人殺しのわけ

### 1・人殺しになったわけ

僕の仕事先では、ゴミを再利用出来るモノとその他のゴミで分ける。再利用するゴミは、主に紙類で、ダンボールなどがそれにあたる。僕は、いつものようにゴミを2つに分けて捨てた。

それから3日後、僕の住んでいる市の再利用している会社が爆発したニュースを、歯磨きをしながら見ていた。

理由は、機械の中に乾燥剤が入っていたかららしい。

僕は何も気にせずそのニュースを流しみていた。

一週間後事件が起こる。

家に帰ると僕の部屋で知らない人がくつろいでいる。一体何者なんだ？

「私はあなたに殺された人です」

どういうこと？

「あなたがゴミの分別を間違えなければ、私は爆発して死なずにすんだのに。」

あの事件のことが

「そう！そのこと！あなたには私が死んだ責任をとってもらいます。」

責任って？

「私が言うことを何でも従ってもらいます！」

確かに殺してしまったらしいのは僕だしな！。でも本当に僕が人殺しをしたのかな？

「今更そんなこと言うなよ！私が死んだのは事実なんだから」

そういえば死んでる人としやべってるのか。

「そりゃあそうでしょ。私幽霊なんだから。私が満足するまでここで私の出した指示にはちゃんと聞いてもらいますから。」

「こうして僕の家には幽霊が住み着くようになった  
「それじゃあまず初めに親に手紙を書きなさい」

## 2・ミッション！親に手紙を書け

2・ミッション！親に手紙を書け

親に手紙を何で書かなきゃいけないんだ

「何でかって！私は、もう親と話が出来ないからに決まってるでしょ」

と言いながら、幽霊はすすり泣きはじめたので、僕は便せんとペンを用意した。

「なんて書くの？」

泣き止んだ幽霊がこっちにきた。

なんて書くの？

「まだ書けないの？」

なんて書けば良いのだろう。親に手紙を書いたことがないので、上手い言葉がみつからない。

なんて書いたら良いの？

「今までありがとって書けば良いの！」

僕は今までありがとと書いて便せんに入れて送った。

3日後親から電話が来た

「手紙どうしたの？急に？」

なんか幽霊に手紙書けって言われてさ

「大丈夫なの？元気にやってる？」

元気だけど。

「体壊してない？」

うん。

「辛いことかあったらすぐうちに帰っておいで。」

うん。

「食べ物いっぱい送ったから栄養しつかりと取って。無理はしないように。近々またそっち行くから。」

うん。

「お母さんはいつでもあなたの味方だからね。じゃあね。」  
うん。じゃあね。

「なんでうんしか答えないのさ。」  
電話を切ると今度は、幽霊が話かけてきた。

なんかお母さん。大分勘違いしてた気がする。

「そりゃあ、あんたがうんしか答えないからだよ。」  
そうなのか！

「そうだよ。じゃあ次の頼みごとは、うんは言わないで。」  
うんー。

「もう言ってるよ。」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2378ba/>

---

僕は人殺しです

2012年1月6日00時46分発行